

平成29年第2回豊頃町総合教育会議会議録

- 1 開催日時 平成29年11月22日(水)
15時00分～16時15分
- 2 会場 豊頃町える夢館委員会室
- 3 出席者 豊頃町長 宮口 孝
豊頃町教育委員会
教育長 山本 芳博
教育長職務代理者
櫻井 康雄
委員 宝田 博幸
委員 荒川 めぐみ
委員 長濱 竜一
- 4 出席説明員 豊頃町教育委員会 教育課長 佐藤則仁
教育課長補佐 須藤裕子
豊頃町総務課 総務課長 富田秀樹
- 5 協議・調整事項
 - (1) 豊頃町教育大綱の推進状況について
 - (2) 豊頃町立学校校舎等整備について
 - (3) ICT教育について
 - (4) いじめ問題への対応状況について
 - (5) 平成30年度教育予算について
 - (6) その他
次回開催予定及び内容
- 6 審議経過 次のとおり

佐藤課長	<p>ただいまから平成29年度第2回豊頃町総合教育会議を開催します。初めに宮口町長からご挨拶申し上げます。</p>
宮口町長	<p>それでは一言ご挨拶を申し上げます。教育委員の皆様には先程の定例教育委員会議でお疲れのところ引き続き総合教育会議にご出席いただきありがとうございます。最近、厳しい状況におかれている子どもたちをいかに健やかに成長させられるか、教育現場の環境についても積極的に行政も関わって改善に努めたいと思います。</p> <p>今日はそれぞれ事務局の方からご説明を申し上げますが、ご審議のほどをよろしく願い申し上げます。ご挨拶に代えさせていただきます。今日はどうもありがとうございました。</p> <p>それでは、さっそく協議・調整事項です。</p> <p>(1) 豊頃町教育大綱の推進状況についてです。事務担当者から説明申し上げます。</p>
佐藤課長	<p>3ページ資料1をご覧ください。</p> <p>教育大綱は「報徳のおしえを育む教育 生涯にわたって学ぶ人づくり」という目標を掲げ、学校教育、社会教育、家庭教育の三つの柱を立て、取り組んでいこうというものでありまして、豊頃町の基本理念でもあり、町民憲章にも謳われている、「報徳のおしえ」を義務教育段階からしっかりと学習し、豊頃町民としての基盤を作っていく、その上で、生涯充実した生活を送るために必要不可欠な、学び続けることのできる環境を整備し、「町づくり計画」並びに「教育目標」において掲げている、「いきいきと輝く町民」を目指すというものであります。</p> <p>まず、学校教育に関しましては、「生きる力と豊かな心を持った子どもを育てる学校教育」を取り組み目標とし、社会で生きていくための基本となる義務教育段階での学習環境の充実を図り、確かな学力の習得と体力・運動能力の向上を目指し、「報徳のおしえ」を系統的に学び続けることで、知、徳、体のバランスのとれた逞しい子どもを育てる学校教育を目指すものであります。各学校において教育課程に基づき各教科とも順調に授業を進めております。「報徳のおしえ」についても道徳部分で教育</p>

	<p>課程に位置づけられており、取り組んでいるところであります。</p> <p>また、平成27年度から実施している北海道のICT活用教育促進事業によりパソコン、タブレットなどの教育機器整備及び校舎内外の施設の改修を行いまして、学習環境の充実を図っているところです。</p> <p>次に、社会教育に関しましては、「協働の心と絆を育み生涯学び続ける社会教育」を取り組み目標とし、豊頃の自然や歴史など特色ある教育資源を活かした、あらゆる学習機会の提供と拠点施設の整備充実に努め、町民の学習意欲を高めることで、お互いに学びあい、教えあい、その成果を学校や地域に還元し、人と人との絆を深める中から生きがいが増え、学び続けることができる社会教育を目指すものであり、また、家庭教育に関しては、「人間性・社会性を培う家庭教育」を取り組み目標に、核家族化や少子化、人間関係の希薄化で、すべての教育の出発点である家庭での教育力の低下が指摘されていますが、子育てに不安を感じている親への支援、家庭教育学級などの学習機会の充実を図り、基本的な生活習慣や倫理観、社会的なマナーが培われる家庭教育を目指すものであります。</p> <p>社会教育と家庭教育に関しては、昨年度新たに策定されました社会教育中期計画に基づき、響きあい高めあう社会教育の実現を目指し取り組んでおります。</p> <p>子どもを対象としたえる夢キッズや生涯教室、豊寿大学などの高齢者を対象としたもの、家庭教育学級等の設置など保護者や一般の方、軽スポーツや交流会、各種スポーツ教室、出前講座などを開設し、学習の機会の提供に努めています。さらに、町民の皆様に伝統芸能にふれていただく機会を提供することで、ここ数年は落語によるはるにれ寄席を開催し好評を得ているところであります。以上でありますので、ご協議をお願いいたします。</p>
宮口町長	<p>ただいま報告等を説明申し上げました。このことについてご質問等あれば伺いたいと思います。</p>
各委員	<p>なし。</p>
宮口町長	<p>次ぎに（2）豊頃町立学校校舎等整備についてです。説明お</p>

佐藤課長

願います。

豊頃町立学校校舎等整備についてですが、ここでは学校校舎等建築検討委員会の開催状況についてご説明させていただきたいと思います。4ページ資料2-1をご覧ください。こちらには学校校舎等建築検討委員11名の名簿を添付しております。委員会設置要綱第3条の規定により、各小中学校の校長、各小中学校及び保育所の保護者の代表、学識経験者等により構成し、委員長に半谷徳辰氏、副委員長に豊頃中学校遠藤校長がそれぞれ互選されております。

5ページ資料2-2及び6ページ資料2-3は、本年7月20日に開催しました第1回検討委員会の資料を抜粋したもので、資料2-2は本町児童生徒数の推計表であり、豊頃小学校は平成32年度に100人を下回り以降再び100人を超えることはありません。また豊頃中学校では平成33年70人を下回り、35年には60人を下回ることになります。

6ページ資料2-3は委員会のスケジュールをお示しさせていただいております。7月20日に第1回委員会、8月21日に第2回検討会議を開催させていただき、来週28日・29日教育委員さんと合同で雨竜小中学校併設校と石狩市の聚富小中学校を視察研修し、明年2月に第3回委員会を開催し町立学校のあり方についての検討を行い、引き続き平成30年度に5月から3回の検討委員会を開催し8月に町長へ報告書を提出する予定となっております。このほか第1回会議においては、本町における学校校舎整備・改修状況、委員会の設置目的・所掌事務などの説明、正副委員長の互選を行なっております。

7ページから9ページにかけては8月21日に開催しました第2回検討会議時の資料の一部でございます。第2回検討会議では豊頃小学校と中学校を訪問し校舎整備状況を校長並びに教頭から説明を受けながら視察した後、町立学校のあり方について検討を行なっております。

7ページ資料2-4をご覧ください。その検討にあたって、まずはこれまで町・教育委員会・議会が行ってきた協議・検討・調査経過、検討の方向性とその理由を説明し、それを踏まえた上で検討にあたっての論点として、現状の把握、検討すべき事項、検討にあたって考慮すべき事項を整理させていただい

ております。

これまでの協議・検討、調査経過については、学校校舎は建築後40年をめどに改築する例が多く、小規模町村では、効率的な学校整備・運営のため、建て替え時に小中併設校として整備する事例が増えてきており、昭和49年12月建築の豊頃中学校校舎も築40年を過ぎ、児童生徒数の推移や小中連携教育のあり方及び教育関係施設等の整備を含めた校舎形態、町全体の施設計画など総合的に将来を見据え検討するため、平成27年11月開催の第2回総合教育会議から検討が図られていること。

8ページの中段、(3)検討の方向性については、児童生徒の動向から、中学校単独校舎ではなく、小学校と中学校を併設あるいは一体の校舎とした建設構想としたいこと。(4)でその方向性の理由として、児童生徒の減少傾向や小・中連携、一貫教育が既定事実化していく中、豊頃町においては、報徳のおしえを基盤とした豊頃町独自の一貫教育推進体制をより一層確立していきたい。さらに、小中併設型は義務教育学校に比べ、校長及び教頭が別々に配置され、学校職員数が確保される利点がある、ことなどを説明しております。

9ページ、検討にあたっての論点については、豊頃町の生涯学習、学校教育の現状と課題を踏まえ、新学習指導要領等の教育課程の基準に基づく小・中連携教育を目指すとともに、報徳のおしえを基盤とした豊頃町独自の小中一貫教育推進に適した学校施設を整備することが必要である。として、第1回検討会議及び第2回検討会議で現状を把握したうえで、(2)検討すべき事項として、①建築方法について～新築か改修か、②予定年度について～築後45年(H32年度)か50年(H37年度)か、③建築形態・規模について～単独校舎か小中併設校舎か、④施設構成について～グラウンド、野球場、テニスコート等の整備について、⑤建設場所について～現中学校施設用地内かそれ以外か、⑥現校舎のあり方について～解体か再利用か。小中併設の場合小学校校舎の利活用について、⑦建築費用・財源について～他公共施設建設計画及び財政計画との整合性の必要性をあげ、(3)考慮すべき事項として、①小中学校の円滑な接続と報徳のおしえを基盤とした小中一貫教育の推進、②学校運営協議会制度コミュニティ・スクールの取り組み、③避難所として

の防災機能を併せ持つ学校施設整備について、④関連して、町営野球場等の教育関連施設の再編整備について、をあげております。本格的な検討・論議は今月末の視察研修が終わってからというふうに考えております。

10ページ及び11ページには第1回検討委員会及び第2回検討委員会で出ました主な意見を掲載しております。

第1回委員会では

・小中の連携は重要であり連携教育を視野に入れた学校生活の充実が求められている。

・安全安心で楽しく通える学校づくりや小中をひとつにする場合はそれぞれにとってベストな環境を整えることが重要。

・今後の児童生徒数を考慮し豊頃町にふさわしい校舎を建築願いたい。

・保育所も含めた一貫校を考えてほしい。

・大津小学校はできる限り存続してほしい。

という意見が出されております。

第2回委員会においては、町営野球場等の教育関連施設の再編整備について、平成39年度には中学校生徒が50人を切ってしまう状況となり、部活動も1校単独ではチーム編成が成り立たなくなっている状況で、町営ソフトボール場が校内に併設されているが、この先、使用しなくなることも考えられ、同様に野球場を新しい校舎に隣接して整備しても中学生が使えないという状況になる可能性が高いと思われる。といった意見が出されております。

先ほどもお話ししましたが、本格的な検討・論議は今月末の視察研修が終わってからというふうに考えております。以上でありますので、ご協議をお願いいたします。

宮口町長

ただいま報告等を説明申し上げました。このことについてご質問等あれば伺いたいと思います。

これは、校舎等建築検討委員会で上がってきたものを教育委員さんが検討するのですか。

山本教育長

検討委員会で協議された内容については、随時定例教育委員会議の中で報告させていただきます。

宮口町長	教育委員さんが検討委員会に入らないのは何か不都合があるのですか。
山本教育長	基本的には検討委員会の検討結果を教育委員会と町長へ報告することになっております。
宮口町長	最終的にあれも出来ないこれも出来ないではなくて、私は教育委員さんがある程度意見を出して、ある程度形を作らないと片方が一方的に希望、要望を上げてあれも欲しいこれも欲しいではなくて、それなりの立場から協議しながら進めてほしいです。視察には行かないのですか。
櫻井委員	行きます。
宮口町長	役場の職員は行かないのですか。
山本教育長	随行します。
宮口町長	建物を見に行かないのであれば職員は関係ないけれど、建物を見るのなら専門的な職員も行って、建物の面と教育の面で視察するべきではないですか。
佐藤課長	来週の視察は小中併設校の小中連携部分での視察です。校舎の視察については、管内で新しく学校を建築している浦幌町や池田町などがありますので、来年の第2回検討会議あたりに考えております。そのときには規模がだいたい決まっていると思っていますので、施設課や総務課に同行してもらいたいと思います。
宮口町長	現実的に、建築を目的として行動し始めています。最初から建築の面も踏まえていくべきではないですか。総合開発計画は何年ですか。
山本教育長	今回の方向性をもって総合開発計画を来年度に見直してあげていきたいと思います。現状ではまだです。
佐藤課長	考え方としては、まず中学校を単独で建てるのか、小中併設

<p>宮口町長</p>	<p>で建てるかの方向性を決めてから施設の方を計画していきます。</p> <p>教育委員さんを中心に組織を作った方がいいと思います。教育行政に一番精通しているのは教育委員さんだと思います。PTAの役員を集めても時代が変わればその人がいなくなって、また次の人へと繋がりがないと視察をしてもまったく意味がないと思います。ある程度権限のある委員さんがいいと思います。</p> <p>いまは、29年度なのでそれまでに少しでも財政的に良くしないといけないです。ある程度決めて、現実的に進む時期です。</p>
<p>山本教育長</p>	<p>中学校はすでに42年経過しているので、あと3年すると45年になるので計画とすればそこを目指したいです。</p>
<p>宮口町長</p>	<p>いまの校舎見てください。42年対応年数で43年になったから使えないなんてことはありません。そんなことよりも、いまの教育にマッチしてない建物だということで、年数も大事だけど、防災などいろんなことで急ぐなら急がないといけないと思います。大変だろうけど、教育委員さんにも頑張っていたきたいと思います。</p> <p>問題なのは、最終的に財源的なことで、大きな箱が小さな箱になれば今まで一生懸命やったこともあるから、出来るだけ現実に沿った計画を立てないといけません。家庭で家建てるのと同じだと思います。最終的に予算がなくなったら小さくなります。将来を見据えて多少余裕を持ちたいです。将来人口がこのくらいだから、このくらいの器でいいだろうとなれば、単独でもこうしたいということが出てくれば財源的に持っていないと皆さんが思う理想の館が出来ないかもしれません。</p> <p>問題は、財源の内訳です。教育関係でどれだけお金を引っ張れるか、どれくらいの借金が出来るかが最終的に問題になります。昔と違って、インターネットとかいろいろ駆使した建物になるのですよね。</p>
<p>山本教育長</p>	<p>そうですね。進化した状況を導入していかなければいけません。</p>

宮口町長	いろいろと説明申し上げましたが、教育委員さんにも口を出してもらってご協議いただければと思います。
山本教育長	今度は建築という部分でも、教育委員さんも一緒に同行できるように体制をとっていきたいと思います。
長濱委員	検討の方向性の部分で中学校単独校舎ではなく、小学校と中学校を併設あるいは一体の校舎とした建設構想とありますが、これはどのように進めていくのですか。各代表者が集まって話しを進めていくのだと思いますが、やっぱり保護者の意見も各学校の方で聞いて進めていくのですか。
山本教育長	委員さんの中には、各学校の PTA 会長が入っていますので検討委員会で論じられていることも父兄の皆さんに報告する機会もございますし、父兄の皆さんからのご意見を吸い上げる機会も各 PTA の方で進められると思います。
宮口町長	いま申し上げましたとおりです。よろしいでしょうか。
長濱委員	はい。
宮口町長	経過報告ですので、これからどのような形になるかまだわかりませんが、次回にはそれぞれ経過が進められた中で説明があると思います。 次ぎに（３）ICT 教育についてです。説明をお願いします。
佐藤課長	12 ページ、資料 3-1 をご覧ください。本町では平成 27 年度から 3 年間、教育における ICT 活用を進める事業として、豊頃小学校と大津小学校が道の指定を受けまして、ICT 活用促進事業に取り組んでいるところであります。 12 ページに平成 27 年度、13 ページに平成 28 年度の取り組み内容を掲載しております。両年度の取り組み内容につきましては、前回の会議でも説明しておりますので、割愛させていただきます。 14 ページ資料 3-3 をご覧ください。平成 29 年度においては、大津地区の光回線共用開始により、恒常的な遠隔授業と

	<p>交流の実施、ICT の特徴を活かした授業のさらなる研究、アプリ等を活用した児童の能力に応じた指導の充実等を計画し実施しております。</p> <p>具体的な取り組み内容としては、ICT の特徴を活かした授業の研究（子ども意欲を高め分かりやすい授業の実現）、他校の関係機関と連携した遠隔授業（主体的・協同的な学び）、アプリ等を活用した児童の能力に応じた指導の充実（個性や能力に応じた学び）などを、14ページ中段【事業スケジュール】にありますとおり、偶数月に職員研修を行ない、奇数月の5月に理科、7月に社会、9月に国語の授業研究を実施しております。</p> <p>また、6学年児童においては、豊頃小と大津小を遠隔で結び修学旅行の計画やまとめについて6月から延べ18時間、遠隔授業を行なっております。さらには、昨日の勝毎にも掲載されておりましたが、大津小では広島平和記念資料館と遠隔授業を行い「被爆体験者の話を聴こう」という授業も行なっております。</p> <p>15ページ資料3-4は、事業に関連して3か年で整備したパソコン、タブレット端末、通信環境等の整備状況について掲載しております。本年度においては、豊頃小にタブレット端末を40台、無線LAN回線では、大津地域の光回線化により大津小学校を光回線に変更、また豊頃小と豊頃中では1回線から2回線へ増設、豊頃小と大津小にICT機器用ラックをそれぞれ整備しております。</p> <p>道指定のICT活用促進事業については、本年度が事業最終年度でありますので、今後のICT活用・利用方法について、町独自に新たな事業に取り組む必要があるものと考えております。</p> <p>以上でありますので、ご協議をお願いいたします。</p>
宮口町長	<p>ただ今説明したとおりです。ご意見がございましたら願います。</p>
	<p>機器について豊頃町は揃っていますか。</p>
佐藤課長	<p>この事業のおかげでかなり整備されました。他の町に比べてもかなり整備されていると思います。</p>
山本教育長	<p>タブレット端末は大津小は全員分揃っています。豊頃小は児</p>

宮口町長	<p>童数の半分はありますので、授業をする分には問題ないです。</p> <p>我々の年代では理解できないことが多いですが、今の子どもたちは生まれたときからこうなので、恵まれているのかどうなのかわかりませんね。子どもたちがタブレットをいじる姿を見るとすごいですね。</p>
山本教育長	<p>理解は我々より非常に早いです。</p> <p>ただ、私は課長が先ほど説明した大津小の研究授業を見ていたのですが、遠隔授業でビデオを見て考えることを双方向で出来る、子どもたちは相手の感情がその場で見る事が出来るので、有効だなと思いました。複式学級だったので先生が化学の指導をしている間に、もう一方は計算の答え合わせを遠隔でして有効的だなと思いました。</p>
宮口町長	<p>そのような時代なのですね。</p> <p>仕事でもそうです。昔、職員が7、8人でやっていた仕事を機械で出来ます。今時期だと年末調整で必死になってやりました。それぞれ担当があるので職員は減りませんが、町民と接する機会は減ってきています。会話すること、人に物事を伝えることが下手です。そういう時代で事が済むから良いのでしょうね。だから仕事も変わってきたし、内部も変わってきました。</p>
山本教育長	<p>町長のおっしゃるとおり、専門性が問われてくると法律がかなり根深く入ってきている感じです。</p>
宮口町長	<p>社会教育なんて昔はありませんでした。僕が入ったときは1人くらいしかいませんでした。いまは、学校教育より社会教育の方が重要になってきています。昔、教育委員会は3人くらいしかいませんでした。いまは何人いるのですか。</p>
山本教育長	<p>11人プラス嘱託です。</p>
宮口町長	<p>わかりました。</p> <p>そのようなことで、頑張っていますのでよろしいですね。</p>

<p>佐藤課長</p>	<p>次ぎに（４）いじめ問題への対応状況についてです。説明をお願いします。</p> <p>18ページ資料4-3をご覧ください。この表は今年各学校から提出された「いじめ把握のためのアンケート調査」をまとめたものであります。</p> <p>アンケートの内容につきましては、16ページが小学生用、17ページが中学生用となっております。設問は小学校・中学校とも同じで、設問1はいやな思いをしたことがあるか？設問2はその内容について、設問3は今もいやな思いをしているか？と続き、設問7ではいじめは許されないことか？という内容となっております。</p> <p>資料4-3に戻りますが、この結果を見ますと、設問1いやな思いをしたことがあるか？では、豊頃小では24件、豊頃中で4件、設問3は今もいやな思いをしているか？は、豊頃小では9件、豊頃中で0件、設問5友達がいやな思いをしていることを見たり聴いたりしたことがあるか？では、豊頃小では46件、豊頃中で4件、設問7いじめは許されないことか？では、そう思わないと答えたのが、豊頃小では3件、豊頃中で2件となっており、大津小学校においては皆無という結果となっております。</p> <p>これらアンケート結果の対応については、豊頃小学校及び豊頃中学校とも、児童生徒との個別面談により確認を行なったところ、いずれも子ども同士でよくある「悪ふざけ」や「からかい」「ひやかし」の範疇であり、「いじめ」と認知されるようなものではなく、それらもすでに解消されているということでもあります。また、設問7いじめは許されないことか？で、そう思わないと答えた児童生徒についても個別面談により、「いじめはいけないこと」ということ理解してもらっているとのことでもあります。</p> <p>本日配布いたしました資料4-4、4-5につきましては、昨年11月及び本年6月時点における同様のアンケート結果でございます。本年11月時点の資料4-3と比較してみましても、大きな変化は認められませんし、各学校から「いじめ」の報告はない状況となっております。</p> <p>今後も、いじめの認知厳密化とともに未然防止・早期発見に</p>
-------------	--

宮口町長	<p>努め、認知件数ゼロを目指してまいりたいと考えております。以上でありますので、ご協議をお願いいたします。</p> <p>ただ今説明いたしました。</p> <p>いやな思いをしたことがあるか。これは受ける人によってそれぞれ違うと思いますが、具体的にはどのような内容ですか。</p>
山本教育長	<p>内容は、いじめと思った方がどのようにいじめと考えたかということで、例えば2番のアと答えた方で豊頃小で10名いますが、アは仲間はずれにされたり無視されたりした。イは8名いますが、暴力まではいきませんが、ふざけて叩かれたりしていじめられた感覚を持った。あとは、いたずらや悪口を言われた。中学生では小学生にはありませんが、ネットに書き込みされたという答えが1件。LINEなどのアプリで悪口を言われたのが中学生で2件出てきています。やはり、中学生くらいになるとスマートフォンを使用した課題が出てきています。</p>
宮口町長	<p>いじめを抑えるのは、半分以上は家庭教育だと思います。道新に載っていましたが、全国のいじめの件数が32万件でいじめの率が一気に伸びています。これは調査が詳しく入っているということですか。</p>
山本教育長	<p>調査内容が幅広く網羅され、文科も些細なことでも早く見つけて対処していくことが徐々に浸透していくと、そのようなこともいじめ件数に積みあがってきています。初期段階の発見を文科は進めるので、そういう視点が強くなってきています。</p>
佐藤課長	<p>実は今回からアンケートの内容が変わっていて、先程のいやな思いとあったと思いますが、前回の調査まではいじめを受けたことがあるかという調査だったのですが、今回からは、いやなことをされたことがあるかという言い方になっています。</p>
宮口町長	<p>調査はいいのですが、いかに現場で対応出来るかですね。特に、中学生は感受性が強く、思春期です。高校生もありますよね。</p>

山本教育長	高校も認知件数としては、12,874件で約2%増えています。ただ、この関連で調査があった中で北海道では不登校が108%で伸びています。小学校も中学校も伸びています。
宮口町長	不登校はいじめによる不登校なのか、自分が学校に行くのが嫌だから不登校なのか原因はわかりませんね。
山本教育長	はい、原因はいじめとの関連とは別ですが、不登校という項目では伸びているという現状があって、特に高校の不登校も108%で小中高とも1割程度が不登校という状況です。主に理由として考えられるのは、不安と無気力というようなことが不登校の大きな理由でないかと言われています。
佐藤課長	先程お配りしました釧路地方法務局からの子ども人権 SOS ミニレターについては、各学校児童生徒にお配りする資料であります。
櫻井委員	これ (SOS ミニレター) は、このまま送れるのですか。
須藤補佐	はい、送れます。
宮口町長	では、よろしいですか。
各委員	はい。
宮口町長	次に (5) 平成30年度教育予算についてです。説明をお願いします。
佐藤課長	19ページ資料5をご覧ください。平成30年度教育予算の中で、主な投資予算要求です。 まず、各小中学校教職員用椅子の更新です。各学校とも教員の椅子がかなりくたびれています。キャスターが回らないなどかなり老朽化しています。ということで合計49脚を更新したいと思っております。これについては、147万円かかる予定です。まだ試算の段階です。 次に、豊頃小学校校舎等修繕及び備品購入です。理科室瞬間

湯沸器設置、図工室フローリングマット更新等で229万3千円程度。

次に、大津小学校体育館屋根・天井改修工事です。これは新規大型工事で屋根の改修です。大津小学校の屋根につきましては、地震等で大変危険な吊天井になっておりますので、これにつきましては早急に工事を行いまして、合わせてLED照明を設置したいと思っております。こちらについては、合計で5,178万9千円かかる予定です。

次に、える夢館のLED照明改修工事です。LED化し省電力化によるコスト削減を図るものでして、30年度から3年計画で全部改修。30年度は廊下、階段等を実施し、全体で950万円程度、平成30年度は312万5千円を見込んでおります。

次に、える夢館の修繕です。階段のタイルが傷んでおりますのでその補修、1階内壁塗装等で合わせて130万程度であります。

次に、学校給食センターの外構工事です。舗装補修工事ということで駐車場及び建物基礎周りで、300万円程度を見込んでおります。

同じく学校給食センターの調理器具ですが、濾過機付2層式ガスフライヤーを更新したいと思っております。給食センター開設以来1度も更新されていないので20年が経っております。こちらでも老朽化により更新したいと考えております。約130万円となっております。

以上、平成30年度の主な予算要求になっております。

宮口町長

予算について説明いたしました。その後、町の方で予算査定をします。実は教育委員会というのは、法律的にいうと予算執行の権限がないので、校長先生や先生から上がってきたものをこっちで整理します。私も子どもたちの教育で買えるものを買ってあげたいと思うのですが、いまこの予算要求を見たら、極端に言えば壊れたものを直すだけです。そういった面で、あれ欲しいとかこういった物が欲しいだとかは私のところへきません。ただ1度こちらに校長先生が座って、こちらに教育委員会が座って、こういった物を買って欲しいと、本当に子どもを持つ親や父兄としてこういった物に予算をつけてあげたらいいんだとか。いま上がってきたものは、雨漏りしたとか使えなくな

	<p>ったとか当然な学校の整備だけど、ソフトな面は相当きていると思います。そして、教育長が査定しているのですか。</p>
山本教育長	<p>はい、しています。</p>
宮口町長	<p>僕は、正直言ってそういうものを見たいです。金額は問わず。相当贅沢なものも上がってくるだろうから、本当に教育の現場で先生が不便を期しているものは課長のところには上がってきているのでしょうか。</p>
佐藤課長	<p>はい、上がってきています。</p>
宮口町長	<p>課長が厳しくやるのは当たり前ですが、せっかくだから教育委員さんにもこのようなものが上がってきたけど切りましたなど報告した方がいいです。せっかく小さな町だから出来ること、目が届くものなど、教育委員さんに学校でどのようなものを要求しているかなど。学校の先生は教育委員さんにお問い合わせすることはないのですか。</p>
各委員	<p>ないです。</p>
宮口町長	<p>いままでは行政は教育委員会にあんまり関与したらだめだとかで、ある町では教育長がワンマンになってしまって市長や町長をそっちのけにしたことがあり、わざわざ町長を頭にしてやるわけです。私はこれには反対ですが。教育委員会には教育長がいるので、町長が出る筋合いではないです。ワンマン町長だと教育にまで手を突っ込んできます。私はこの制度について反対ですが、しなきゃならないということになっています。本当は、予算も何百万か配分したいです。そして、学校に任せたいです。組合がすごくなって、学校事務職の人たちが私たちの仕事じゃないって楯突いて校長教頭がやりなさいって。そしたら校長教頭が大変になって、それなら役場で必要なものだけ買ってください。組合が悪いって訳ではないけど、事務職本来の仕事でないとか、今はそういったことやっているところはないのかな。あの頃はそれで助かりました。校長先生がお金を握っているのです。</p>

佐藤課長	今はもう、各学校に配分していてその中で買ってもらうのですが、その中で賄えない分だけ教育委員会で対応しています。学校から上がってきたものは出来るだけつけるようにしています。
佐藤課長	教員の椅子についてはキャスターを取り替えてくれる業者もなかなかいないので、買ったほうが早いということになります。
宮口町長	いまも1人役場にキャスター取り替えに来ていますが、発注してからかなりたたないと来てくれないので、そのほうがいいですね。
佐藤課長	汚れているし、何十年使っているという感じです。
須藤補佐	スプリングも悪いです。
櫻井委員	いま、小学1年生で入ったときの椅子を調整しながら6年生まで使っているのですか。
佐藤課長	そうです。調節できます。
宮口町長	それは、業者に騙されて買うだけで、やっぱり古くなるので途中でそれなりの物を買ってあげたほうがいいです。
佐藤課長	確かに、小学校1年生と6年生だとすごく差がありますからね。
山本教育長	大津小学校が吊天井になっているのは僕の認識ではなかったです。
佐藤課長	以前、検査したら吊天井ではないとなったのですが、天井のシミがすごくて検査に入ってもらった業者がこれは吊天井ですねとなってそれではじめて発覚しました。
宮口町長	いままでもそのような経緯がたくさんありますが、壊れた場合どうやって直すか考えないのです。壊れたときのことを考え

	<p>てそんなに派手なかつこいいことしなくてもいいです。売りつける業者も上手なもので、職員みんな騙されてしまいます。予算について他にありますか。</p>
各委員	なし。
宮口町長	<p>では、予算についてはそのようなことをご承知願いたいと思います。</p> <p>次に（６）その他次回開催予定及び内容についてです。</p>
佐藤課長	<p>次回の開催予定ですが、例年ですと５月中旬から下旬に開催されておりますので、次年度も５月に開催したいと考えております。以上です。</p>
宮口町長	年に何回ですか。
佐藤課長	年２回で、５月と１１月に行っています。
宮口町長	よろしいですか。
各委員	はい。
宮口町長	その他、全体的にご質問等ございませんか。
長濱委員	<p>初めてなのですが、今回の会議は年２回ということですが、これは報告を受ける会議なのですか。それとも、検討する会議ですか。</p>
山本教育長	<p>報告もありますが、当然検討していただく内容もあります。ただ、この会議は町長も言われていましたが、教育行政部門と町長部門が意思を一本化しながら進んでいくというための会議です。そのようなことから、報告だけということはありません。</p>
佐藤課長	<p>町長の受け持つ分野と教育委員会が受け持つ分野は違いますので、その両方をこの場で話し合っ意見交換をして意思疎通を図ってもらおうと考えてもらっていいと思います。</p>

宮口町長	あと何か行政に意見を申すときは教育委員さんの会議で協議して大いに町のためにやってください。 その他ございますか。
各委員	なし。
宮口町長	では、本日は大変どうもありがとうございました。